



どうにかする力

泗水小学校だより
R4. 6. 22(水)
No. 10
校長 工藤竜一

【校訓】 なかよく つよく しんけんに
【学校教育目標】 自立する泗水っ子の育成
～「生きる力=どうにかする力」を育む教育活動を通して～

「オープンスクール」(土曜授業)へのご来校ありがとうございました！

6月18日(土)の2、3校時に「オープンスクール」を実施しました。今年度になって初めての授業参観でしたが、運動場と泗水体育館の駐車場がほぼ満車になるほど多くの保護者の皆さんに来校いただき、ありがとうございました。特に、1年生のうれしそうな表情がとても印象的でした。

子どもたちの学習の様子は、いかがだったでしょうか。7月8日(金)の午後には、授業参観・学級懇談が計画されています。お忙しい中とは思いますが、学級懇談までぜひ出席いただきますよう、よろしくお願いいたします。

どろリンピック・田植え…3年生米作り体験の取組

本校では、3年生が米作り体験を行っています。稲田壽昭様のご協力により、6月3日(金)に「種まき学習会」、20日(月)に「どろリンピック(しろかき)」を行いました。30日(木)に「田植え」を予定しています。

20日(月)の「どろリンピック」では、始めは、水を張った田んぼに足を入れるのも恐る恐るだった子どもたちでしたが、一旦入ってしまうと、走り回ったり寝ころんだりして田んぼの中を満喫しました。「宝探し(ゴルフボール探し)」をしたりして、楽しいひと時を過ごしました。

この米作り体験を通して、食料生産に携わる人々の努力や工夫を知り、米作りに根差した日本の文化にも興味関心を高めてほしいと思います。地域の皆さまのご協力、本当にありがとうございます。



3年「どろリンピック」の様子

☆校長室から独り言8☆

令和2年7月豪雨の経験から…

梅雨本番という時期になりました。この時期になると、2年前、人吉で経験した豪雨災害を思い出します。私は、平成30年4月から令和3年3月までの3年間、人吉市の球磨教育事務所に単身赴任で勤務していました。豪雨災害の7月4日は、前日の金曜日から教育事務所に災害待機で泊っていました。一晩中大雨が降り続いていましたが、午前3時頃からは、雷を伴う激しい雨音で、豪雨が庁舎にたたきつけていました。午前6時頃、交代の職員が登庁しました。外に出ると、これまでに経験したことのないような土砂降りでした。車で人吉大橋を渡るとき、球磨川が橋のすぐ下を勢いよく流れていました。大橋を渡りきると中心市街地になりますが、完全に冠水しています。これではアパートに帰るのは無理と判断し、大橋を渡って教育事務所に戻りました。そのまま車で突っ込んでいたらと考えるとゾッとします。庁舎の屋上から球磨川を見ると、信じられないほどの高さまで水位が上がっています。市庁舎の緊急放流のサイレンが鳴り響き(緊急放流はありませんでしたが)、防災無線で避難を呼びかける放送も雨音でかき消され、想像を絶するような緊迫感の中、テレビを見ながら教育事務所で電話対応をするばかりでした。

多くの人々が大切な人を失い、家や車を流され、避難所や親せきの家に身を寄せて復旧にあたられていました。3日前に学校訪問をして、きれいな花が咲き誇っていた球磨村の渡小学校が、川の氾濫に飲み込まれました。夜に通りかかると、にぎやかだった人吉の中心街も真っ暗で、怖いくらいでした。熊本地震のときにも思いましたが、まさかと思うことが現実起きるのが災害です。情報を収集し、まずは命を守る行動をとることが大切です。「空振り三振は許されるが、見送り三振は許されない。」を肝に銘じ、校長として、子どもたちや先生方の命を守れるよう、覚悟して責任を果たしたいと思います。